

新潟市区自治協議会のあり方検討の進捗状況について

※12/18 市民厚生常任委員会協議会報告資料

1. 9月定例会からの動き

■各区自治協議会（8～9月）

第1回検討委員会の検討について報告

■区自治協議会会長会議（10/13）

自治協のあり方検討の方向性の整理を行い、第2回検討委員会の資料を検討

■第2回検討委員会（10/30）

今後の自治協のあり方の整理を行い、参考意見聴取項目を検討

主な意見

【区自治協議会】

- 自治協の役割を「区ビジョンまちづくり計画の実施計画」に焦点を置くことで、重心が定まり有意義な審議が展開するのではないか

【会長会議】

- 自治協が行政からの報告会になってしまっている。意見を聴いても参考程度である
- 全体会で意見を出しやすくするためには、委員の数を減らしてはどうか

【検討委員会】

- 区の実情に合った組織（委員数など柔軟性を持った）に変えていったほうが良いのではないか
- 住民から挙げた課題や区役所がこれから取り組もうとする課題についての討論の場になれば良いのではないか

2. 参考意見聴取を実施中（11～12月開催の各区自治協議会）

■意見聴取にあたって

これまで様々な意見をいただいているが、大きく2つに分類できる

- 区の裁量で行えるもの ⇒ 現在でも柔軟な対応が可能
(例：開催日時・頻度, 若年層・女性・公募委員を増やす, 自治協自らが広報紙を発行)
- 全市統一のもの ⇒ **今回、意見聴取する部分**

■意見聴取項目

(1) 仕組み

ア 検討が必要なもの

- 組織のあり方をどうするか
～委員構成, 任期・定数, 必ず自治協に意見を聴く項目等, 全市統一の組織で良いか
⇒区の実情に合った組織にすることで, より柔軟な運用ができないか
⇒区の独自性, 地域性をどう考えるか

(2) 役割

ア 検討が必要なもの

①意見提出…話し合うテーマを区のことの特化するか

- ⇒テーマを絞ることで話し合いが活発化し, 迅速な対応ができるのではないか
- ⇒話し合う対象が限定されることと, 話し合う対象や役割が明確になることをどう考えるか

②地域代表…行政からの説明, 報告(全市に係るもの)は今後も必要か

- ⇒全市に係るものを説明, 報告対象とするか
- ⇒自治協に決定権が無いものを説明, 報告対象とするか

③実施主体…自治協提案事業にどこまで関わるか

- ⇒自治協が事業提案して得られる成果と負担をどう考えるか
- ⇒自治協は事業実施の担い手となるべきか
- ⇒区役所と自治協の役割分担をどう考えるか

イ 「協働の要」として引き続き期待するもの

- 区役所が所掌する事務等について話し合い, 区に対して意見を述べること
- コミ協を中心とした委員同士の情報共有や情報交換を行い, それぞれの活動に生かすこと
- 地域課題の解決(区づくり予算など)への主体的な関与

【意見交換・検討スケジュール(案)】

	平成29年度										平成30年度	平成31年度
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
検討委員会		開催 (7/28 済)			開催 (10/30 済)				開催	開催	平成29年度検討の整理・必要に応じ条例改正	委員改選・検討を踏まえた自治協の運営
自治協	○		○			参考意見聴取		○				
会長会議			○ (8/9 済)		○ (10/13 済)			○				
市議会 (協議会報告)	○			○			○	○				